

# 韓国の中学生 能楽交流



大島さん（左）から能の歩き方を教わる両国の生徒ら（福山市光南町で）

## 培遠中生と舞など体験 福山

韓国・浦項市の迎日中学校の生徒16人が、福山市春日町、市立培遠中（刈山和美校長、566人）の生徒と交流するため来日し、9日、同市光南町の喜多流大島能楽堂で、培遠中の生徒13人と一緒に舞や鼓の演奏を体験した。

培遠中が2007年から続けている交流事業の一環で、迎日中の生徒は8日に来日。培遠中の生徒宅にホームステイしながら日本語に触れ、1日に帰国する。両国の生徒は、面など能の道具の説明を聞き、発声練習をした後、舞台へ。最

初は、体を揺らさずにゆったり動く独特の歩き方に戸惑った様子だったが、講師の大島文恵さん(32)が「水の入ったコップが頭にあると想像して」とアドバイスすると、楽しそうに足を前に後に運んでいた。

迎日中1年の朴智源さん(14)は「最初は、のっぺりした面の表情が怖かったけれど、角度によって色んな感情を表現出来ることだんだん分かってきた」と話していた。

10/01/10 読売新聞

back